

ヒバゴン食堂！

おとなも子どもも、みんないっしょに「わ」になる活動です
 食でつながる！食べるだけじゃあ～ない **やっぱり、ええね！**
 目的はそれぞれ。地域のみんながつながれる!! **地域の輪!!**

もしかして、それは「子どもの貧困対策？」と聞いていませんか？地域のだれでも家族のように集まって、ホッとできる場所！家族や学校、職場とは違う地域で、「食」を通じた地域の交流が生まれ、みんなが笑顔になれる、みんなを包みこんでくれる居場所、地域の食堂なんです。

ヒバゴン食堂！人がつながる地域の居場所づくり
 ～今回は、西城中学校3年生が考えてくれました！
野菜たっぷり、夏バテ防止や美容にもいいメニュー



7月20日(土)第6回ヒバゴン食堂は(社協の主催、西城自治振興センターで開催)、西城中学校コラボ企画として行われました。おしながき／キーマカレー トウモロコシの冷製スープ しらすとモロヘイヤ和え ころころトマトのコンポート 大人400円、高校生以下100円、定員30食。

西城では、昨年(2023)の8月27日(日)が初回ですから、およそ1年になります。全国的には、「子ども食堂」として、取り組まれています。地元の旬の食材、栄養のバランスを考えた「安全安心な食事を通じた地域コミュニティ」として、「子ども食堂×高齢者の交流＝地域の居場所」として開かれています。さまざまな年齢の子どもたちがアットホームな雰囲気の中で楽しみながら食事をし、多くは、子どもたちと高齢になり一人暮らしをしている人です。食事を通じたつながりが芽生え、高齢者の居場所、生きがいの一つになることを願っています。

今年の2月17日(土)には、中国新聞で、「庄原で住民有志の『食堂』続々、地域つなぐ、孤食防止や食育、憩いの場に」「地元農家が育てた野菜を使い、子どもの食育や高齢者の孤食防止につなげる」「生活困窮者への支援という視点ではなく、住民たちが憩い、安心して食事のできる環境をつくる。食堂を通じて地域のつながりが生まれている！」と報じられました。

この日も、相席されたお方で、「あなたは、どういうてんの?」「わたしは、(どこの、だれ)と言いますよ!」と、会話がはずんでいました。お子様をお連れになった子育て現役世代の来場や若者の姿も見られました。コロナ感染症のため、中学生の参加はかないませんでした。食材を提供してもらい、先生方がお手伝いしてくださいました。美味しかったのでレシピを教えてくださいとの声も届きました。



ボランティアのみなさん



よろしくお祈りします。
 西城自治振興区
 会長 田村 富夫



ヒバゴン食堂

グラウンドゴルフ大会 五日市公盛会

6月23日に予定していたグラウンドゴルフ大会は、大雨警報の発令により延期していましたが、早期開催の強い声があり、7月27日(土)に開催しました。西城球場全体を8ホールとして2回まわり、熱中症予防に水分補給をこまめにしてもらいました。「軽い運動とみなさんとの会話」が弾みストレス解消と身体が健康になりましたと喜んでもらい有意義な日となりました。また、この度のグラウンドゴルフ大会にたいして有志の方から多くの商品の協賛があり、参加者の皆さんが喜んでいました。ありがとうございました。

五日市公盛会自治会 事務局 樋口研二談



五日市公盛会のみなさん



会長を囲んで車座になったの歓談

大兼池紫陽花公園整備事業

大兼池の紫陽花公園は、今から33年前(1991年)頃から「地域に特徴のある場を」と有志で挿し木をしながら徐々に増やしていったのが始まりとされている。今では当時と比べると大戸自治会の人口も半分以上に減少してきているが、それ以来、毎年初夏と秋の2回大戸自治会の人が集まって草刈りなど、公園整備にあたってきました。

今年も6月2日(日)に、草刈りなどを実施しました。



大戸自治会のみなさん



大兼池と紫陽花



食事会

また、7月7日(日)に、当初予定していた紫陽花を見ながらの食事会は、高温のため熱中症予防の観点から、急遽集会所での食事会に切り替えて実施しました。アジサイの花も、以前のような勢いを徐々に失いつつありますが、コミュニティの交流の場として、あるいは憩い場としてこの事業を継続・発展させていきたいと考えております。



草刈りなどの整備作業

大戸自治会
 会長 森長康之進談

書道教室

昭和40(1965)年西城公民館活動と同時に書道教室が始まり現在は、平井邦子先生のもと5名で毎月1回の活動をされています。自宅で書いた作品を持ち寄り先生に見てもらおうそうです。同じ課題でも皆さんそれぞれに個性がでています。作品が優秀と認められると月刊誌へ掲載されるので楽しみに取り組んでおられます。最高年齢、穴戸須美子さん(100歳)はリーダー的存在で、生き生きとされています。皆さん毎月1回集まってお喋りをするのが楽しみで、一人暮らしだと話す機会が少ないので辞めずに続けています等の声、教室が皆さんの集まりの場としても一役買っています。これからも、長く教室が続くことを願っています。

生涯学習自主運営教室



作品と書道教室のみなさん



持ちよった作品を先生に見てもらいます



たのしいおしゃべりの時間